

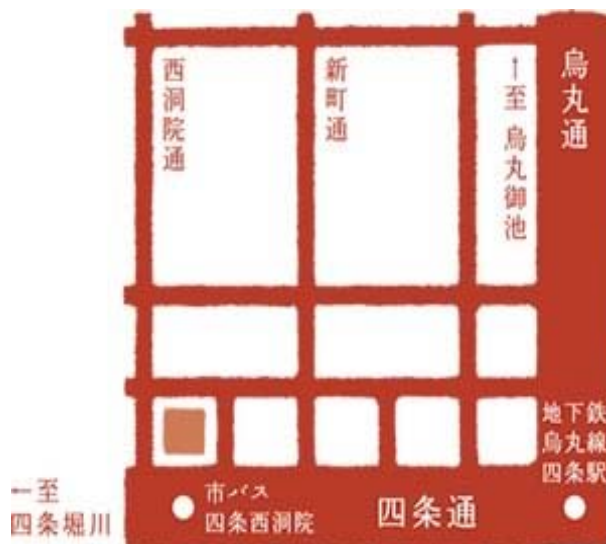
住まいの傷みの見分け方

～リフォーム詐欺事例から学ぶ/第4回「木材・塗装」



日時：2008年3月28日（金）
18：00～19：30

場所：四条京町家
（京都市下京区四条通西洞院東入）



講師：岡村 利昌さん
（株）岡利 代表取締役
京都木材協同組合 副理事長
京都府木材組合連合会 理事
中村 啓介さん
（有）中村塗装店 専務取締役
建築塗装一級技能士
二級建築施工管理技士

定員：50名

参加費：無料

主催：特定非営利活動法人
古家改修ネットワーク



TEL 075-882-8721

FAX 075-872-0223

E-mail furuinet@yahoo.co.jp

WEB www.kyoto.zaq.ne.jp/reform/

京町家をはじめとする戦前の建物でも手入れさえすれば、孫の代まで住みつづけることができます。

また、比較的新しい築30～50年の建物でも早めに傷みを見分ける事ができれば費用をかけずに長持ちさせる事もできます。

今回は、木材に詳しい先生と、塗装店の職人さんをお招きし、初歩的な木材の知識から外壁塗装トラブルの実態まで幅広いお話を伺います。

古いお住まいは桧・杉・松といった地元の材料がたくさん使われています。材料に合った手入れの仕方を覚えていただき、少しでも長く住み続けられるようにしたいと思っています。

また、塗装もリフォームトラブルの多い分野です。外壁からの水の侵入は住まいの寿命を縮めます。詐欺にあわないためにも、ぜひとも正しい知識を身につけていただきたいと思います。

